

「仙台市幼児教育の指針」により健やかな成長を後押し!

～ 子どもたちの心身の根っこを育てよう ～



- ◆ 乳幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う大変重要な時期です。この時期にしっかりと愛情を注ぎ、子どもが「愛されている」「大切にされている」と実感できることが、健やかに成長する原動力となります。その上で、発達過程に応じた養護*と教育を積み重ね、生きるための確かな基礎を育むことが大切です。
- ◆ 幼児教育は、子どもが生活するすべての場において行われるものであり、家庭や地域、幼稚園、保育所、認定こども園等が相互に連携・協力して取り組む必要があります。

(※) 子どもの健康と安全を守り、情緒の安定を図るための援助や関わり

幼児教育についての理解を深め、未来を担う子どもたちをみんなで育てていきましょう。

1 基本理念 ～子どもたちの心身の根っこを育てる～

- ◆ 幼児教育は、小学校教育の先取りや知識を詰め込むものではなく、安定した情緒のもと、意欲を育み、様々な体験や人とのかかわりを通して、人格形成の基礎を培うものです。
- ◆ 幼児期の子どもにとって、日々の生活や遊びは大切な学びの場です。様々な体験を通して人として、社会の一員として生きていくための基礎となる「心身の根っこ」を育てます。



2 基本目標 (目指す子どもの姿) ～心身ともに健やかで、たくましく、しなやかな子ども～

- ◆ 子どもたちが将来社会的に自立し、自分の力で夢や目標に向かって力強く歩んでいけるよう、心身ともに健やかで、たくましく、しなやかな子どもを育てます。
- ◆ その実現に向けて「健やかな体」「豊かな心」「前向きな意欲」をバランスよく育みます。

はくく

育みたいもの

- 感動する心、柔らかな感性
- やさしさ、他者を思いやる心
- 自己抑制、他者との協調 など

前向きな
意欲

- 自分で考えて行動する力
- 好奇心を持って様々なことに挑戦する力
- あきらめずにやり遂げる力 など

豊かな心

健やかな体

規則正しい生活習慣や運動習慣を身につけ、健康に生活するための体力

3 基本方針

基本方針1 根っこを育てる

社会の一員として生きていくために大切な基礎となる、心身の根っこを育てます。

- 命を大切にする心の教育 ● 健康・体力の増進 ● たくましく、しなやかに生きる力の基礎づくり

基本方針2 みんなで育てる

子どもたちを地域全体で育てます。

- 幼児教育の理解促進 ● 幼保・小の連携の強化 ● 地域の資源の活用

基本方針3 教育の質を高める

幼児教育に携わる者の教育力の向上を図り、教育の質を高めます。

- 家庭の教育力の向上 ● 地域の教育力の向上 ● 保育者の教育力の向上

「仙台市幼児教育の指針」は、仙台市ホームページに掲載しています。

<https://www.city.sendai.jp/uneshien-kikaku/kurashi/kenkotofukushi/kosodate/shisaku/shishin/shishin.html>

お問い合わせ 子供未来局 運営支援課 022-214-8178



家庭での取組のヒント

仙台市幼児教育の指針では、家庭の役割として次の **3つ** を挙げています。

- 1 子どもが健やかに育つためには、「自分は愛されている、大切にされている」と実感できることが大切です。まずは、子どもとしっかりとした信頼関係と愛着関係を築き、子どもが安心して過ごせる安全基地となる必要があります。
- 2 生活や遊びを通して、子どもの自発的・主体的な活動を促し、心ゆくまで楽しみ、やり遂げる経験を積み重ねることで、健やかな心身を育みます。
- 3 自分の身の回りのことは自分でできるように子どもの基本的な生活習慣の確立を目指すとともに、あいさつや社会生活でのルールを保護者が手本を示しながら教えます。

家庭で取り組んでいただきたいことを、「**取組のヒント**」として以下に例示しました。

日々の生活の中のちょっとしたことが、子どもの未来を大きく変えます。まずはできることから始めてみましょう。

ヒント1

親子の時間を大切にして、スキンシップや言葉がけで愛情を伝えましょう。

「愛しているよ」「大好きだよ」「大切に思っているよ」というメッセージが、子どもが健やかに成長する原動力となります。



ヒント2

「早寝、早起き、朝ごはん」を実践しましょう。

「早寝、早起き、朝ごはん」は、健やかな体づくりの基本です。規則正しい生活のリズムをつくりましょう。



ヒント3

外遊びや自然とのふれあいの機会を積極的に作りましょう。

外遊びや自然の中で思いっきり体を動かして遊びましょう。様々な発見や感動を味わう体験が大切です。



ヒント4

「してよいこと」と「してはいけないこと」があることを教えましょう。

親がお手本です。決まりや約束を守ることの大切さを伝え、子どもが守れたときにはほめてあげましょう。



ヒント5

あいさつや社会生活でのルールを教えましょう。

元気なあいさつを交わすと気持ちよく生活できますね。あいさつやルールを守ることが社会で生活するためには大切なことです。



ヒント6

お手伝いをしてもらいましょう。

簡単なことから少しずつ始めましょう。子どもが自分で「どうしたらできるかな」と考え、やり遂げられることが大切です。



ヒント7

日々の生活や地域の行事に親子で参加することなどで、地域の方々との交流を図りましょう。

地域の方々との交流を通じて社会性が育まれます。新たな出会いや気づきは、子どもが大きく成長するためのきっかけにもなります。



ヒント8

親子一緒にいるときは、スマホやゲーム機はひと休みさせましょう。

親がスマホばかり見ていると、子どもは寂しい思いをします。ゲーム機で遊ぶより、一緒に絵本を見たり、外で遊んだりすることが、心に残る体験になります。楽しい思い出になるような、ふれあいの時間をつくりましょう。

